

初動対応の流れ確認

ACKグループが 全社一斉防災訓練

ACKグループは8月31日、全役職員が参加し、全社一斉防災訓練を実施した。写真。訓練にはグループ各社全国20カ所以上の拠点が参加し、午前中は全拠点が被災した場合を想定した訓練を



施。午後からは中部地方東部を中心とする集中豪雨による局地的な被害を想定し、顧客からの支援要請への対応などを行った。

地震対応訓練では、各拠点に現地対策本部を設置し、職員の安否や事業復旧時期の判断などの初動対応の流れを確認。豪雨被害対応訓練では、グループの強みを生かした支援活動を展開するため、BCP（事業継続計画）顧客対応編に沿って訓練を行った。

同グループは「今回洗い出された課題を改善に役立て、確実な事業継続に向けて行動するとともに、顧客からの災害支援要請に応えることで、地域の災害復旧にいち早く貢献していきたい」としている。